

多賀工業会 東京支部会報

2005年 8月 第8号



大雪高原「緑の沼」の草紅葉

***** 2005年 第8号 目次 *****

報 告	第25回東京支部総会開催のご案内	1
	講演会の講師と概要紹介	渡辺 益男1
	東京支部長挨拶 (第24回総会に当たって)	2
	第24回東京支部総会報告	2
	持田幸武氏の講演(自動車のいろいろな話)概要	小林 章夫3
	平成16年度東京支部会計報告	4
	平成17年度東京支部予算案	4
	総会出席者名簿及び写真出展者名簿	5
随 筆	海外駐在冷や汗体験	上月 秀俊5
	おいしいものが好き	日置 秀明7
	ガンドルングトレッキング	鈴木 日出男8
	女性が強いモンゴル国	玉川 信二10
	ニューヨーク雑感	新沼 厚生11
	海外旅行で知るトルコ共和国	山口 良治12
	熟年夫婦 ブラジルの旅	近江 義勝13
インタビュー記事	堀口 正治氏	
	光ファイバ研究一筋 長波長帯光通信を切り拓く	寺内 賢一14
ご挨拶	本部事務局の一員として	東 貞 男16
支部めぐり	栃木県支部の紹介	瀧 宏17
お知らせ	囲碁同好会	山下 正明18
	ゴルフ部	兼子 八郎19
	写真部	玉川 信二20
	山遊会	小宅 仁21
	平成16年度会費納入者	編 集 部22
	東京支部ホームページについて	矢野 睦男24
	編集後記	24
	多賀工業会東京支部会則	表3

表 紙 の 説 明

大雪高原「緑の沼」の草紅葉

カメラ: SONY DSC-P100 デジカメ

2004年9月下旬、大雪山黒岳・旭岳と十勝岳に登るのがメインでしたが、登山の前に大雪高原・石狩川源流に立寄り15の小さな沼めぐりを楽しみました。沼に映る空の青と紅葉の赤や黄をイメージしていたのですが紅葉の盛りは過ぎていて空は曇っていたので期待はずれでした。谷川の岩陰にひそむオショロコマを観察したり、歩くのに専念したりして「緑の沼」に来たとき、雲が切れて薄日が射してきたので急いで撮りました。

大雪山はアイヌ語で「カムイミントラ」(神々の遊ぶ庭)と言うとのことですが、神秘的な自然の美しさをうまく言い表したものだと感じました。

田崎 耕八 (昭32学電)

表紙の題字は杉山 六郎会員(昭24専舶)

第25回多賀工業会東京支部総会開催ご案内

1. 日 時 平成17年10月15日(土)

午後3時から

2. 場 所 東天紅(上野店)(右図参照)

東京都台東区池之端1-4-33

上野不忍池畔

電話 03-3828-5111

交 通

: 東京メトロ千代田線湯島駅下車

1番出口より徒歩3分

: 都営大江戸線上野御徒町駅下車

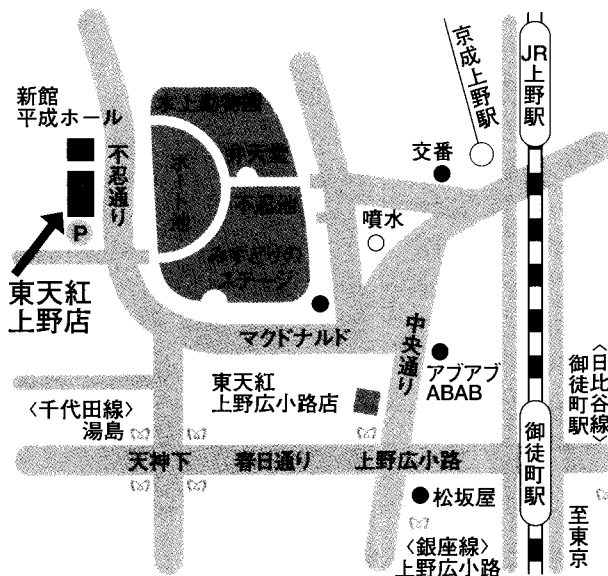
3番出口より徒歩6分

: 東京メトロ銀座線上野広小路駅下車

A4番出口より徒歩10分

: JR御徒町駅下車徒歩10分

: 京成線京成上野駅下車徒歩10分



3. 会 費 10,000円(当日受付で申し受けます)

4. 講演会 下記の概要です。(午後4時～5時まで)

5. 懇親会 (午後5時10分～7時ごろまで)

6. 写真展 総会の会場内に展示します。(会員からの出展をお待ちしております)

7. お願い 出欠のご返事は9月30日(金)までに同封のハガキにてお願いします。

なお、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費2,000円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

8. お問い合わせ先

駒場 方耀 (昭38学機) TEL: 0426-65-8387

広瀬 行一 (昭38学電) TEL: 0297-78-8737

[講演会] 地震の話～耐震構造から見て～

講師 渡辺 益男氏 (昭19専精) (前東京支部長)

株式会社 渡辺建築事務所 代表取締役社長

近年、地震活動が活発になり、世界各地で災害が報道されるようになりました。

地球は休み無く公転と自転を続け、世界各地の活火山が噴火を続けておりますので、この現象に付随して、地震も数多く発生しています。

この現象と対策について、考察を理解し易いように、ビデオにしましたので、この機会に発表させていただきます。



東京支部長挨拶

第24回総会に当たって

支部長 近江 義勝 (昭28学電)

本日は東京支部第24回総会に諸先輩を初め本部より村野井理事長並びに各支部代表の御参列をいただき有難うございました。

私は東京支部発足以来、幹事長として会の運営に携わって参りましたが、最近感ずることは年々参加者が減少気味になっていることで、このままでは先細りになってしまうと疑懼しております。



現在の参加者を大きく分けて工専時代の諸先輩、次に大学1回卒から約15年間、そして昭和40年以降と3段階について考えますと、工専時代の諸先輩は既に80歳前後で、ご本人はもとよりご家族の方々も高齢、どちらかが身体が不具合になれば出席が遠のき勝ちとなります。

次の大学28年卒からの人々も現役を引退されて、第2の人生設計に何かと多忙な事と拝察いたしておりますが、出席に躊躇される方も多いように思います。

やはり40年卒以降の元気潑刺たる若い方々に、支部内各種同好会に積極的に参加していただき、会員相互の親睦、情報交換の場としていただければ幸甚と存じます。

最後になりましたが皆々様より「こんな風にしたら」とお知恵を拝借致し、次回より益々盛大になる事を祈願し、微力ではありますが精一杯努力する所存です。何卒宜敷くご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

第24回東京支部総会報告

玉川 信二 (昭28学電)

多賀工業会東京支部の第24回総会は平成16年10月23日15時から東條会館インペリアルパレスにて開催された。宴会場の閉鎖が予定されている東條会館での開催は今回が最後になり思い出の総会となった。出席者は工専会員18名、大学会員45名、さらに工業会本部と他支部からの来賓が7名の盛会となった。

会は例年通り総会・講演会・懇親会の順で行われた。

総会の最後に、支部長として永年支部の発展に尽力された渡辺益男氏に感謝し、肖像写真が贈られた。

また昨年同様、会場には講師の斎田和夫氏・埼玉県展で入賞した鈴木日出男氏その他写真部員等10点以上の写真作品が展示され出席者の人目を引いた。

総会での挨拶や議事の要点は次のとおりである。

村野井理事長祝辞：

本部ホームページが改善され、さらに事務局に

東氏が加わり体制が強化された。大学の法人化が実施され、それとともに学長・学部長が交替し、来年度からは学部の改組が行われる。

アンケート集約と行動方針：

先に送付した会報に紹介したとおりであるが、回答率は12%でありこの数字が総会案内のはがきの回答率とほぼ一致している。この人たちは東京支部の活動に関心があると考えられるが、行事への参加希望はこの半分にしかない。しかし同期会への参加は回答者の4分の3もあるので、今後は同期会を巻き込んで支部行事への参加者を増やしてゆきたい。

会則改定：

改正案は会報に掲載したとおりであり、今総会で了承された。改正の趣旨は、他支部のものに合わせその構成を変え「章」を設けたことである。そのほか事務所の位置・役員の選出・会報の配布方法を変更した。

総会出席者名簿と展示写真出品者名簿

⇒ 5頁 下段 をご覧下さい

総会時の講演概要

小林 章夫 (昭 39 学機)

日産自動車から日本ゼネラルモーターズを経て、現在 R J C 会員で自動車ジャーナリストとして活躍中の持田幸武氏 (39 学機) に「自動車のいろいろな話」と題して、長年在籍した自動車業界にまつわる多くの話題の中で、特に会員にとって興味深いものをセレクトしてご紹介いただきました。以下にお話いただいたものの中から一部抜粋してご紹介いたします。



講演中の持田幸武氏

自動車に関連するいろいろな数値

1, 重量と価格

品物の価格を単位重さで比較すると面白い。自動車は 1,000kg で 100 万円、1,000 円/kg であり、パソコンの 50,000 円/kg やステーキの 3,000 円/kg より安く、ほぼお米と同じ。

2, 馬力

世界共通ではない。米国の 1,000US 馬力=日本の 1,014JIS 馬力で米国の馬力の方が強い。

3, 円周率の数値

全世界共通ではなく、ドイツでは $\pi=3.0$ で計算する。従って 2.0 リットルエンジンは 1.9 リットルになってしまい、エンジン排気量の数字が 95% になる。

4, 5 段階評価の数値

日本の 1~5 に対し米国は 0~4 で、最高点も平均値も米国は 1 点低く、同じ感覚で扱うと、とんでもないミスを犯すことがある。

5, 人体の寸法

衝突実験を初めとした自動車の開発に使われる人体の寸法は、人体寸法の細かい数値が公表されているアメリカ人の寸法が使われ自動車の安全研究を初めとした自動車開発が行われている。

6, 自動車の安全装備の使用頻度

アメリカで 1 人の人に換算すると、急ブレーキ (ABS) 1 回/1 日、車の修理を伴う事故 1 回/5 年、エアバックが開くような事故 1 回/200 年と言われている。アメリカでのエアバックのセンサーは事故の時の運転状態 (走行速度、エンジン回転数、ブレーキ、シートベルト、衝撃の大きさ方向 etc) が全て記録されている。

7, 車の大きさ

世界最小は 4.8mm (電気で作る。勿論人は乗れない。1990 年デンソーが製作)。世界最大は、長さ 15m 強、高さ 7m 強、タイヤだけで 4m 弱、重さ 5ton 以上ある。コマツ製の鉱山用トラック。最高時速

64.5km/h、最大積載量 300ton とジャンボ車。

変わった法規

自動車に関する色々変わった法規を紹介。

1, DRL (デイトタイム・ランニング・ライト)

昼間ヘッドランプを点灯する。1970 年に北欧 4 カ国で法規制。カナダでも自国法として採用。日本では長野オリンピックの時に米国五輪選手団の車に倣い、地元バス会社が昼間点灯走行を実施。事故の減少効果に注目し、徐々に広まりつつある。

2, ヘッドランプウォッシャー

羽虫によるヘッドランプへの悪影響があり、法規でヘッドランプへのワイパー装着を義務化している。高速走行の多い欧州では羽虫がフロントウインドーやヘッドランプに付き視界が悪くなったり、放電型のヘッドランプに羽虫が付くと光が散乱するので他車への悪影響を避けるため、ヘッドランプウォッシャー装着が義務付けられている。

3, 2.5 (5) マイルバンパー

低速 (2.5 (5) マイル) で衝突しても走行装置に異常が無いことという安全法規。日本での理解は難しい。欧米では縦列駐車の際に前後の車をバンパーで押して余地を作り発進する。この事により走行に支障を来すことがあつてはならないとした法規

車に使われている波

車には色々な波が使われている。代表的な波の使われ方を紹介。

1, 電磁波: 波長の長い順に使われて来た。

自動車ラジオ (AMラジオ 短波ラジオ FMラジオ) 自動車電話 (携帯電話)・GPS・VICSシステム・ETC・ACC

2, 光: 可視光線から目に見えない光の活用へ。

ナイトビジョン (人や動物、走っている自動車から出る遠赤外線 (8~14 μ) を画像化してヘッドランプでは見えない範囲の危険を避けるための安全装置。)

850nm 近赤外線を活用した雨滴検知ワイパーと VICSインフラレドビーコン

LED: テールランプ・交通信号機などに使用、耐久性が高い、発熱しない、点灯が早い、消費電力が少ないなどの特徴があり、将来ヘッドランプへの採用など期待される。

3, 音波: 超音波 (42KHz) を使って障害物を検知する安全装置が実用化されている。

平成16年度多賀工業会東京支部会計報告

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)


収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
第24回総会費	710,000	第24回総会費	556,539
1万円×71名		懇親会費	480,000
年会費 333口	666,000	資料・映写機借用料	19,838
本部援助金	250,000	出欠葉書後納料	14,755
寄付	118,000	雑費：土産代、交通費	41,946
広告料	40,000	会報費	533,380
前期繰越金	83,917	編集・印刷費	403,250
		配送配布費 1183通	130,130
		会議費	127,442
		会場費	6,900
		旅費交通費	136,230
		他支部総会参加費	118,450
		交通費	17,780
		事務用品費	1,700
		通信費	20,688
		同好会援助費	20,000
		雑費	16,462
		次期繰越金	448,576
合計	1,867,917	合計	1,867,917

上記の通り相違ない事を認めます。

会計幹事 上月 秀俊 

平成17年3月31日

監事 榊原 康夫 

監事 小宅 仁 

平成17年度多賀工業会東京支部予算案

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
総会会費	800,000	第25回総会費(東天紅、初回)	700,000
年会費	600,000	会報発行費(支部内編纂発送等)	600,000
本部援助金	250,000	会議費	250,000
広告料	40,000	旅費交通費	250,000
前期繰越金	448,576	運営費(事務・通信・部活援助等)	180,000
		予備費(特別支出・繰越準備金等)	158,576
合計	2,138,576	合計	2,138,576

海外駐在冷や汗体験

上月 秀俊 (昭 36 学機)

今年 4 月中国で反日デモが吹き荒れ、進出企業はこの対応に戸惑い苦慮したのではないかと。私は 1989 年から 5 年間タイ国に現地責任者として駐在し、遭遇した事件を思い出した。その時の思いは、旧日本軍の現地参謀が終戦間じかにしたであろう苦勞にも通じている。開発途上国進出企業では今後も同じ様な事象が起り得るので、2~3 事例を紹介したい。

* 1992 年騒乱事件

クーデター後の軍人政府と市民派バンコク市長・農民の要求に対する不満爆発から王宮広場で始まったデモと市長のハンガーストライキが騒乱事件に発展し (デモ隊が市バスに放火したり、信号を破壊。軍隊・警察が市民へ向け発砲、多くの

市民が犠牲となる)、3 日目の深夜、国王が仲裁・裁定して終結した事件。

3 日目の朝には益々過激になるデモ隊との衝突で市民生活・会社の稼働に支障が出はじめ、終結の見通しが立たない。出・退勤時の社員の安全確保も心配であり、タンクローリー等可燃物を運ぶ車の全面ストップにより LPG ガス・燃料が底を尽き、工場の稼働が出来なくなるのは時間の問題であった。工場を何時停止すべきか、明日は如何すべきかの決断を迫られる事態になった。日系企業・タイ地場企業・大使館・燃料供給会社等から情報を集めたが何処も決定的な情報はない、そこで社員安全第一臆病と思われるも早めに決断、午前 11 時ライン停止・即退社・明日は臨時休日として明後日は連絡のない限り出勤とした。この日の 9 時~10 時は大変緊張した時間だった。

★ (次ページ上段☆に続く)

総会出席者 : (写真出品者とも敬称略)

< 来賓 > 7 名

村野井徹夫 本部 理事長 (昭 40 学電)
内山 岩男 水戸勝田支部 支部長 (昭 30 学電)
矢澤 藤一 仙台支部 副支部長 (昭 28 学電)
桐敷 忠雄 栃木支部 副支部長 (昭 38 学金)
野口 恵伺 埼玉支部 支部長 (昭 30 学機)
高田 勲 静岡支部 支部長 (昭 37 学機)
寺門行彦 中部支部 (名古屋) 幹事長 (昭 39 学金)

< 会員 > 63 名

林 義雄 (昭 16 専原) 田邊 邦行 (昭 17 専機)
依田 連平 (昭 17 専機) 菅原 庄一 (昭 18 専機)
宮崎 至誠 (昭 18 専機) 山本 栄治 (昭 18 専機)
山田 実 (昭 18 専金) 朽本 二郎 (昭 19 専原)
藤田 勲 (昭 19 専機) 渡辺 益男 (昭 19 専精)
立花 浩 (昭 22 専機) 明石 和夫 (昭 22 専金)
幸道 貞一 (昭 22 専通) 飯島 公正 (昭 23 専原)
荒川 宣夫 (昭 23 専通) 斉田 耕平 (昭 23 工教電)
渡辺 貢 (昭 26 専原) 菊地 玲二 (昭 26 専通)
近江 義勝 (昭 28 学電) 玉川 信二 (昭 28 学電)
照沼 清 (昭 29 学金) 鈴木 日出男 (昭 30 学原)
三本木 武 (昭 30 学金) 山崎慎一郎 (昭 31 学原)
横山 亨夫 (昭 31 学機) 榊原 康夫 (昭 32 学原)
矢野 睦男 (昭 32 学原) 溝口 知昭 (昭 32 学機)
小室 秋生 (昭 32 学電) 山下 正明 (昭 32 学電)

田崎 耕八 (昭 32 学電) 佐藤 馨 (昭 33 短電)
粕谷 宏夫 (昭 34 学原) 千葉 克男 (昭 34 学電)
高野 史雄 (昭 34 学電) 高野 久弘 (昭 35 学機)
上月 秀俊 (昭 36 学機) 小波倭文朗 (昭 36 学機)
小宅 仁 (昭 36 学電) 野本 光彦 (昭 37 学機)
駒場 方耀 (昭 38 学機) 徳江 影英 (昭 38 学機)
兼子 八郎 (昭 38 学電) 熊谷 文男 (昭 38 学電)
小林 渡 (昭 38 学電) 高萩 隆司 (昭 38 学電)
橋 弘 (昭 38 学電) 広瀬 行一 (昭 38 学電)
矢萩 久 (昭 38 学電) 矢嶋 國男 (昭 38 学精)
笈 逸男 (昭 39 学機) 北島 正保 (昭 39 学機)
小林 章夫 (昭 39 学機) 鈴木 鐸士 (昭 39 学機)
持田 幸武 (昭 39 学機) 原 俊彦 (昭 39 学電)
横山 安行 (昭 39 学金) 高野 隆明 (昭 40 学機)
高久 洋 (昭 40 学化) 大泉 雅靖 (昭 40 学精)
菅谷 禎男 (昭 42 学機) 山口 良治 (昭 44 学精)
鈴木 聖一 (昭 51 学金)

展示写真 : 出品者名と作品題名、出品数

斎田 和夫 (講師) (昭 28 学機) 窓の裏 1
菊地 玲二 (昭 26 専通) 湖 2
玉川 信二 (昭 28 学電) 異国の調べ 他 4
鈴木 日出男 (昭 30 学原) 光る露地 他 2
山崎 慎一郎 (昭 31 学原) 露店 1
瀬在 城雄 (昭 31 学原) 池の桜 他 2
小林 渡 (昭 38 学電) コスモス 1
小林 章夫 (昭 39 学機) 高尾山の紅葉 1

☆（前ページ中段★より続く）

日本ではテレビで報道されており衝突現場の情報等我々より良く知る状態でヤキモキしていた様である。我々現地の者は帰宅後電話2本を受信専用と発信専用に分け大使館・日本人会情報を企業間・社員間連絡に使い、風呂には水を一ぱい張る備えを指示され、食料の買い溜めに動いた人も多くいたがスーパーはこの様な事態に慣れている外国人に買いあざられた様で品切れ状態となった。軍の動きや銃撃戦の情報等音を聞いての想像情報が錯綜し、緊張の一日であった。

* ストライキ事件

1989年はスタッフ400人、社員ワーカー400人、派遣試用ワーカー500人強と合計約1,300人の従業員で構成されていた。当時組合は無く、社員は4月1日にこの1年の新賃金を確認し社員同士お互いの賃金を見せ合うのがタイの習慣（ここで不満者は上司と話合い納得へ）

ホワイトカラーのストライキ

1990年8月人事担当副社長帰任して3ヶ月経った頃にホワイトカラーの連中が大勢社長室へ押し掛けて来た。大學出初任給が他社に比べて低いので改訂すると副社長が約束したのに実行されない。此の俥ではこの会社を辞めざるを得ない事態になる。社長の意向を聴かせるとのことであった。過激な人は返事が貰えるまでのストライキを主張する者もいた。代表者を決めさせて要求内容を整理してみると、タイではT社と均衡しているのがプライド上も技術者不足を凌ぐ上でも給与面に付いて考慮して欲しいと云う事であった。大変重要な問題をいい加減な短時間で決める訳には行かず、「他社の状況を調査して1ヶ月後人事部長から回答させる。以降人事部長と相談せよ」としてその時点は処理し、その後関連会社と調整しT社を凌ぐ水準にして技術者確保に役立てた。

試用期間工のストライキ

1991年8月、90年政変、この春税制変更がありPickUp車は値上り、輸入車は大幅に安くなり、売れ行きが鈍る。生産台数は1989年約44,400台、90年63,300台、91年62,400台と推移していた。91年から売れ行き見通し不安となり、6ヶ月以上勤務した試用期間工から選抜して社員に採用する制度を見合わせていた。社員採用の見通しが見えない事を不満にした、派遣試用期間工（ワーカーの6割近く占める）の一部がストライキを画策し、前日午後トイレにストライキ決行のビラを貼った。外出先でその情報を受け、人事部長に派遣会社社

長を呼んで「首謀者にストライキを中止させ、要求事項の整理・今後の対応計画の提示をさせる」ように説得するよう指示した。更に決行予定日には早朝に出勤し、守衛に門をガードさせ構内での集会が出来ない様にさせたが、結果は上手く行かず夜勤交代者が外に出ず50人~200人と膨れ上がり、さては昼勤で就業している者まで連れ出す始末。さらに事務所前でタイコを叩き大騒ぎ、器物破壊行為も出始めたので警察を入れ対応、その日は警察官に夜間駐留をして貰い、代表者と団交、生産は二直を一直に変え、派遣会社試用期間工を即日全員解雇とし二日後に地方の就職希望者採用面接開始・再雇用希望者は現場の幹部に厳選させ一週間後に二直に戻した。しかしこの騒ぎで生産台数は300台近く減少した。その後秋より社員採用を再開した。1994年には従業員2200人になり1997年バブル崩壊後労働組合が出来た。2004年には150,000台超えの生産をしている。

* その他の大きい事件としては

- # 工場火災：日曜日昼下がり工場中央のラインサイド部品倉庫350㎡全焼事件
- # 日本から来たノックダウン梱包連続盗難事件
- # 雨期洪水による工場浸水・通勤地獄等があるが紙面の都合で割愛する。

* おわりに

後進国では貧富の差と政府の独走で富が偏り貧民でも努力でTopになれる。軍人に不満が溜まるとクーデターが起き、開発途上国でも貧富の差からの不満が集団行動のデモになり、企業内ストライキのような形になる。これも民主化のうねりでタイでは10~15年前、中国はこれからがこの手法で動き出すのではないかと心配な所である。タイでは久しくクーデターは起きてないがタクシン政権のファミリー独占の動きが心配な所でこの2~3年が山だろう。海外に於いては県・地元・関連企業間・日本人社会とのコミュニケーションを良くし、現地人の雇用を大切に、事に当っては3現主義で対処する事が肝要と肝に銘じた。

著者プロフィール

いすゞ自動車入社 主に工場品質管理・製造部門、海外部門に従事。タイ国駐在5年、バンコク日本人商工会議所理事・日本自動車車体工業会理事(バス部会長)等歴任。
趣味：旅行(名所旧跡・温泉巡り)・タイで始めたゴルフ少々。

おいしいものが好き

日置 秀明 (昭 47 学機)

いつの間にか料理

おいしいものが好きである。そのせいでいつの間にか料理をやるようになっていた。料理学校に行ったわけでもなく、本で学んだわけでもなく、見よう見まねの自己流実践一筋である。かれこれ20年以上の経験を積み重ねると、自然に味の出し方が“こんな感じ”となってくる。従って、普通は軽量カップや大匙、小匙は使わない。



“弥三郎窯”

料理をやっているうち、自分のお皿に盛り付けたくなり陶芸を始めていた。近所を散歩していたら、“弥三郎窯”陶芸教室というのがあり、体験作陶からスタートした。その内、手捻りによる作陶に飽き轆轤による作陶に移って15年が経った。料理から陶芸を始めたことから、「魯山人みたいだね！」と言われたが、恥ずかしながら「魯山人」を知らなかった。ところが、“弥三郎窯”の先生である故松島芳氏の父に当たる松島宏明氏が、北鎌倉の魯山人陶芸研究所星岡窯で窯の面倒をみており、魯山人作品の幾つかは松島宏明氏が轆轤をひいたとの事である。このことは、魯山人の影の陶工として本に記されている。最近では、雑誌“諸君”に作家・山田和氏が「魯山人外伝」として弥三郎窯や松島親子も含めて紹介したものを連載中である。

このたまたま入った“弥三郎窯”は、陶芸教室ではあるものの先生の人柄もあり、半分は遊び人倶楽部となっていた。春秋のゴルフ、春秋の釣り、秋の旅行、秋の作品展、2月の鮎鱈鍋、4月の花見、8月の花火、…と盛りだくさんである。集まる人も多彩で、大学教授、作家、建築家、すし屋の親父、デザイナー、飲み屋のママ、果てはオカマバーのママから議員まで揃っており、サラリーマンは霞んでしまう。この集まりでは、皆で料理を持ち寄りたり、作ったりするため私目の料理が貢献することができた。この料理に使うのは先生の作品である。なにせ売るほどある各種のお皿、

鉢、碗、片口、ぐい飲み、…を使い放題だ。旨い料理に素敵な器、そしておいしいお酒たち。お酒は色々だが、特に岐阜の“三千盛”のにごり酒を取り寄せて飲んだものだった。

陶器と磁器の違いは？

この辺で陶器の簡単な解説を！！陶器は粘土、磁器は磁石から作り、磁器の方が若干焼成温度を高くする。指で叩いてキーンの高い音がするのが磁器で、ゴンと鈍い音がするのが陶器である。作り方は、いわゆる粘土細工で形を作り、半湯き状態で削って仕上げ乾燥させる。これを素焼きし(約800℃)、釉薬を掛けて本焼き(約1200℃)する。焼き方は酸化もしくは還元の種類である。使う陶土と釉薬、酸化・還元の見合わせで様々な色と風合いの作品が出来上がる。“弥三郎窯”では、通常の陶芸教室とは異なり、多くの陶土と釉薬を使うことができた。その中でも緑色の織部は、“魯山人星岡窯”での調合そのものであり、よく冗談で決して“ロ”のサインはしない様にと言われたものである。(これは、鑑定士が区別できないという意味です。)又、松島芳氏が苦労の末再現した、中国北宋時代の“鈞窯(きんよう)”という殿青釉及び紫紅釉の作品は、気品と風格のある逸品である。TVで有名な“何でも鑑定団”に出た20cmのお皿に400万円の値が付いた。(興味のある方は参考のHPをご覧ください)

[付録] “おいしいしめ鯖の作り方”

—まず、魚屋で旨そうな本鯖を見つけ、3枚におろす。
—身の両面を粗塩で満遍なく覆い、1.5から2時間スノコの上で冷暗所に置く。
—塩を水で丁寧に洗い流し、水気をふき取る。
—酢で約5分程度しめ、皮を剥きお好みに切り、出来上がり。

[参考] 弥三郎窯 / 一瓶窯のHPは <http://www.ippeigama.com/>

著者プロフィール

(株)東芝 エネルギー機器研究所に入所
現在:(株)東芝 原子力システム設計部
仕事:原子力の研究開発に従事、機械学会、原子力学会所属
趣味:料理、陶芸、囲碁、ゴルフ、旅行、他

ガンドルングトレッキング

(Ghandrung Trekking)

(03年 11月~12月)

鈴木 日出男 (昭30学原)

11月27日(木) 晴

9時30分にカトマンズの宿泊先を出発し、今晚宿泊予定のポカラに向けて車を走らせる。メンバーはガイドのスンドラさんと運転手のスレスさん。スンドラさんは、私のトレッキングには毎回ガイドしてくれるお互いに気心の知れた仲間、運転手のスレスさんも4年前からの知り合いだ。ただ会話は全て英語なので疲れそうだ。

この街道はネパールの東海道だが、簡易舗装で所々に穴があいている。道路の両側は色々な店があり、原色のサリーを着た女性、若者、老婆、中年男性が数多く立っている。日本ではあまり見かけない風景なのでスンドラさんに「なぜ立っているの？」と質問したら「いつ来るか知れないバスを待っているのだ」との答えだった。ネパールではバスが庶民の唯一の交通手段だが、全てビスタレビスタレ(スロースロー)で、バスが時間通りには来ないので人々が多く待っているのだ。

町並みが切れると道路の両側はバナナの並木で、その先は段々畑となる。登り坂の道路になり、振り返るとカトマンズが霞んで見える。カトマンズは盆地の中心に位置するため、各地に行くのには峠を越えなければならない。600m 登り標高2,000m のカトマンズ ゲートのチェックポイントには10時30分に到着した。

ここは昔の日本の関所と同じでカトマンズに出入りする全ての人や車をチェックするため、軍隊と警官が小銃を持って駐屯している。バスの乗客はバスを降りて約100m位歩き、その間で厳めしい顔を示威張った態度で兵隊が乗客の荷物及び身体検査をしている。兵隊が小銃を持って厳しい目付きで私達の車に近づいて来た。一瞬不安になる。兵隊が「何処へ行く」。スレスさんが「日本人をポカラまで連れて行く」と答えると、兵隊は私の顔を熟視して「OK」で無事通過する。日本はネパールに対して1~2番目の金銭援助国なので彼らも日本人には親切だ。

峠を過ぎると降り坂になり、一気に1,000m位、つづら折れの道路を降りる。右側にトリスリ河

(Trisuli River)、左側は山の道路を、トラックを追い越して時速40km位で走る。トリスリ河には、吊橋あり、ロープの渡しありで車窓より見ても飽きない。今年の雨期で土砂崩れした所が数箇所あり、崖下に落ちたトラックを引き上げている現場あり、チェックポイントがあり、思うように時間が稼げない。途中昼食をとり、数箇所のチェックポイントを通過して、フルバリリゾートホテルに着いたのは16時30分。

フルバリリゾートホテルは、赤レンガの三階建ての五つ星のホテルで、広大な敷地の中に専用ゴルフコースあり、ボートを浮かべた池あり、プールあり、点在するレストランありで、玄関の前には制服を着たガードマンが立ち、お客が入るたびに挙手の敬礼をしてくれるので、偉くなったようで嬉しくなる。

11月28日(金) 晴

部屋の窓を開けると雲の切れ間からマチャプチャレ(Machhapuchhare)が見える。バイキングの朝食を食べて7時20分に出発する。町中を北に走り、チェックポイントに8時に着く。軍隊のチェックはOKだったが、ポカラトレッキング協会のチェックでは書式上のトラブルがあり、30分の時間ロスが生じた。

登りの山道を走りノーダラを過ぎ、ヒマラヤ桜の咲く峠を越えてナヤプル(NayaPu1)には9時30分に着く。ここがトレッキングの開始地点だ。車を降りて身仕度をする。

右側の小屋の間の坂を100m位降りモデ川(Mode Khola)を左に見てわりと平坦の山道を30分位歩き吊橋を渡って右折すると、ガンドルング(Ghandrung)を経てアンナプルナベースキャンプ(Annapuruna Base Camp)やマチャプチャレBC(Machhapuchhare Base Camp)に行く道だ。モデ川を右手に見て丘陵の畑中の道を歩く。稲の収穫が終わり牛を使い、糞を落としている。蟬が鳴いている。道端でオレンジを売っている老婆が暇そうに座っている。長閑な農村風景だ。Tシャツでも汗が出る。モデ川の砂地を歩く。岸の浅瀬にオタマジャクシが泳いでいる。林の中を歩きシャリバザール(Syaul Bazar)に11時30分に着く。1,500m位高さか？ここは数軒の食堂とロッジがあり、その一軒の食堂でレモンティとフライドエッグの昼食を食べる。ここから岩だらけの登り坂になり標高が高くなるので毛のシャツ

ツを着る。いっきに 1,000m 位登る地獄の坂道だ。12 時 30 分に出発して端ぎ端ぎしながら 10 歩歩き休み、10 歩歩き休みの繰り返しで歩く。遙か遠くの峠の左手にヒマラヤ桜の大木が見え、つづら折れの道が続いている。その峠に着くと、又遠くに峠が見えるので、あそこまで登ると思うと溜息も出るが、右手に白く輝くマチャブチャレ(ネパール語で魚の尻尾の意味)が見えるのが慰めとなる。途中韓国人、台湾人、オーストラリア人、ヨーロッパのトレッカーと会うが日本人には会わない。

道の脇にヒマラヤ桜が随所にありピンク色に咲いている。かたつむりの様な歩きで息たえだえの時ガンドルングゲートが見えてきて、15 分位で集落に着く。15 時 30 分だ。今晚の宿泊の予定にしていたアンナプルナロッジは韓国人のツアートレッカーで満室で、少し下がった Peaceful Lodge を紹介される。2 階建てで部屋数 10 のそのロッジの宿泊客は私達 2 人だけで、部屋には風呂があり、トイレは水洗で静かで家庭的な雰囲気だ。アンナプルナサウスもマチャブチャレも雲に隠れて見えない。遠く下の谷の対岸の山裾には人家の灯りが見えるのみで何も見えない。寒くなりダウンジャケットを着る。標高 2,500m なので夕食時に持参した缶詰でビールを飲みながら、ロッジの息子の弾くギターに耳を傾ける。哀愁のある曲だ。至福の感あり。明朝にはヒマラヤが見えることを念じて寝袋に入る。

11 月 29 日(土) 晴

6 時に起床して北側のカーテンを開けるとアンナプルナサウスとマチャブチャレが黒く見える。快晴だ。ダウンジャケットとダウンパンツで身支度し、カメラを持って部屋を飛び出す。吐く息は白く身が切れるような寒さだが苦にならない。薄墨色の雪山が先端の方から、茜色からオレンジ色へと変化していく様は自然の作るドラマのようで、荘厳さそのものだ。昨日の苦労を忘れさせる風景で、来て良かったと思う。古希でもやれば出来る。夢中でシャッターを切る。(右側写真)。庭の椅子に座りネパールティを飲み、心ゆくまで光の七変化を眺める。黄色いマリーゴールドの花が咲き乱れその上に雪山、いつまで見ても飽きない。9 時 20 分ロッジの家族に見送られて出発する。帰りは殆ど降りのみなのでヒマラヤ桜や雪山を撮影しながらのんびり歩く。途中地元の青年がボランテアで、女性に識字を教えている小屋があり、訪

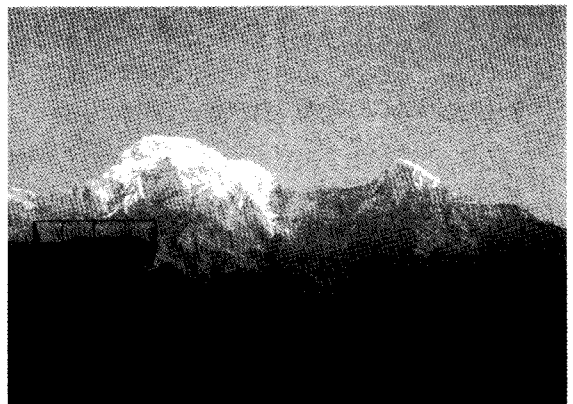
ねて貧者の一灯と思い寄付をする。老婆よりオレンジを買い食べてみると、日本の昔の味で美味。昨日昼食を食べたシャリバザールで休息してから長閑な平坦な道を歩き、モデ川に架かる吊橋を渡った所の食堂で昼食後、最後の坂を登り 14 時 15 分にナヤプルに到着してトレッキングは終了となる。タクシーを拾いポカラまで戻り、迎えのストレスさんの車に乗り換えてフルバリリゾートホテルに向かう。15 時 30 分にはホテルに着き、風呂に入り疲れを癒してから、レークサイドの日本料理店「古都」でスンドラさん、ストレスさんと乾杯する。

11 月 30 日(日) 晴 朝霧深し

朝前方が見えないほど霧が深いので、広大な庭を散歩しながら撮影する。太陽が霞みオレンジ色で輪郭が判らない幻想的な風景だ。8 時 15 分に出発してペワ湖畔(Phewa Lake)行き、ボートでブラヒ寺院(Varahi Temple)のある島に渡ると朝なのに沢山の人がお参りしていた。マチャブチャレが湖面の上に霞んで見える。ポカラを 9 時 30 分に出発して帰路につき、往路と同じく 3~4 軍隊のチェックポイントを通過して、マルファ バザール(Malukhu Bazar)のレストランに 13 時到着して、餃子(モモ)とビールで食事して、14 時出発して坂を登りカトマンズゲートからいっきに降り、リングロードを通り、16 時 10 分に宿泊先に着きトレッキングの旅は無事終了した。

著者プロフィール

1999 年 日本設計退社後、ネパール王国立トリブバン大学で学生を指導していた時期があり、現在でも年に 1~2 回ネパールに出かけて写真撮影をしている。全日本写真連盟会員



アンナプルナサウス 7,219m

女性が強いモンゴル国

玉川 信二 (昭28学電)

1、モンゴル国とは

大相撲ではモンゴル出身の朝青竜が十回以上の優勝を果たしモンゴルの人気が高まっているが、まだまだ日本人には他の欧米諸国に比べてモンゴルの知識が高いとは言えない。

モンゴル国は中国とロシアの中間にあり、戦前は外蒙古と言われていたが蒙古とは中国人が隣の国を呼んでいた蔑称であって今は使ってはならない。以前はソビエト連邦の属国のようにになっていたが、連邦の崩壊後は大統領による共和制になり完全な独立国である。面積は約156万平方キロメートル(日本の4倍)、人口は約250万人、産業は牧畜が主であるが、近年は銅やモリブデンなどの鉱業が注目されてきている。

日本からの援助は数々行われているが、円借款による国有鉄道の通信設備の改善も一つのプロジェクトとなり、デジタル化による近代化が行われている。私はそのプロジェクトのユーザー側コンサルタントとして工事に従事し、日本をはじめ外国の業者のプロジェクト実行の監理を行った。プロジェクトは1995年から始まり2001年に一先ず完了し、私もその間日本とモンゴルの間を数回往復し、三分の一はモンゴルで生活した。

長い間ソビエト連邦の支配下にあったので、ロシアの文化の色が濃く、モンゴルの多くの人にはロシア語が達者である。生活は西欧的なものが一応可能であり、パンと肉の食事をする事ができる。しかし牧畜の国であるため野菜の入手が困難で以前は冬には野菜は玉葱・人参・馬鈴薯しか手に入らなかった。今は冬でも中国から輸入された青菜を入手できる。

2、モンゴルの宗教と女性

私がモンゴルにいた5年間の間数十人の人と接触したが、モンゴルの宗教と女性について感じたことを記してみたい。もちろんこれは私が接触した少数の人から受けた私の主観的な感想であり、これをもってモンゴル人はこういうものだとは決め付けることはできない。

モンゴルでの宗教はラマ教(チベット密教)であり信仰深い家庭では仏壇があってラマ教の仏像や仏画が祭ってある。公式にもプロジェクトの起



工式にはラマ教の坊さんが来てお祈りをした。ラマ教は日本ではほとんどないが、チベットやブータン・ネパールでは国教とされていて、モンゴルでも王政時代の宮殿にはラマ教の仏像や仏画が並び、現在は博物館になっている。ラマ教はそれ以前の前・中期密教とは大きく異なり性の煩惱を受け入れてそれを超越して悟りを開くことが教理となっているので、性の煩惱に対して非常に寛容である。博物館にある仏像や仏画もそれをあからさまに扱ったものが多い。

性に寛容であるためにか結婚についても深刻には考えていないように見える。社会主義時代になってから結婚式は行われず、二人で役場に行って登録するだけで終わりである。従って離婚が非常に多い。子供ができて亭主の働きが悪いと奥さんはさっさと子供を連れて出て行ってしまふ例をいくつか見た。子供を育てるのは母親の仕事で、男は種付けをするだけなのかと疑われる。

3、モンゴル国は女性上位の国

私のプロジェクトのゼネコンの事務所に日本語の達者な美人の現地事務員がいた。彼女は男勝りのやり手でプロジェクトを切り回していたが、子供を連れて離婚していた。また、客先側の英語が達者で日本からの借款受け入れ手続きを担当していた女性も、やはり子供をつれて離婚していた。この他多くの職場でやり手の女性には子供を連れて離婚した人が多かった。

モンゴル国では子連れの女性が働きやすいように保育施設が完備し、女性が子供を保育所に預けて働くことが当然になっている。保育所にいた子供達は退社時になると事務所に母親を迎えに集まってくる。その時間には事務所の入り口のロビーは子供で一杯になって、守衛に遊ばせてもらっている光景が見られる。

モンゴルは女性上位の国である。優秀な女性が数多く社会で働いている。私のプロジェクトの客先側担当技術者(カウンターパート)もモスクワ大学への留学経験のある女性であった。しかし結婚しても男がそのつもりで働かないと長続きしない。離婚した女性は、その後はラマ教の教理に従って適当に過ごしているようである。

著者プロフィール

1960年: NEC(株)に勤務 電子部品・交換ネットワーク開発・製造に従事

1991年: 通信技術コンサルタントとして、海外通信網改良・整備事業の計画・工事監理に従事、モンゴル・インドネシア・スリランカ・パキスタン等各国に滞在

趣味は仏像彫刻

ニューヨーク雑感

新沼 厚生 (昭38 学電)

1、始めに

私は、一昨年から、年金生活に入りました。息子が私の囲碁の趣味を少しは世の為に役立てさせようと、ネットで色々探してくれました。それが、ニューヨークでの3ヶ月間の囲碁ボランティアでした。



もう20年以上も前のことですが、富士通時代に研究・開発中であったプラズマディスプレイの調査・販売などで、ニューヨークには、3回ほど来ています。海外3ヶ月間の滞在はこの歳になって初めての事です。

タイムズスクエア交差点(世界で最も賑やかと言われます)に大きな広告塔が2つ向かい合って建っており、当時は、新興国日本の企業広告のネオンがいくつも輝いていましたが、今は日清ラーメンとパナソニックだけで、いささかさびしい思いをしました。代わりに、韓国のサムスンの立派な広告が出ており時代の趨勢を感じました。

2、囲碁のボランティア

ニューヨークの囲碁クラブの建物は、プロ棋士であった故岩本薫9段が囲碁の普及を目的に私財を投じて建てたものです。運営は、若い時からニューヨークに来て、苦労した末に事業に成功し、時間に余裕の出来た日本人達のボランティアにより、日本棋院の指導の下で行われております。この人たちは、日本の政治に無関心ではありません。私が今回滞在している間に、中国の反日運動がありました。彼らに言わせれば、国際感覚の乏しい日本政府が政治配慮で言い難いのであれば、どうして若者が街頭に出て、世界に向かって理路整然と反論・主張しないのだと言うわけです。ここでのボランティアの一人が、これから日本を背負う若者のためにと言って「ニューヨークでのビジネスのすすめ方」を書いており、原稿を見せてもらいました。其の趣旨は、大学を出たら、どんな環境にいても、できるだけ早く、国際的常識の修得と議論できる英語力を持つ事のようにでした。「日本での小さい成熟した老大国で過ごすのではなく、世界の中の新興国で頑張ろう」なのです。

3、へそ出しルック

ニューヨークは、暑さ・寒さが時々ひっくり返

りますが、最近は、一段と暖かい日が続いています。このような季節になると、若い女性達は、東京も同じでしょうが、へそ出しルックの服装で競っています。

へそには、金属のリングを取り付けていたり、その周りには、刺青など多彩です。もう少し肉体に自信のある人の強調するところが胸の谷間です。私のような気の弱い男には、一寸目のやり場が無いくらいの人もあります。こういう人が、しゃがむと、お尻の谷間まですっきり見え、そこにも刺青をしている人が多くいます。

ニューヨークの女性の自慢は、前と後の谷間と、おへその飾りのようです。でも、頂けないのは、3段腹の中年のご婦人のへそ出しルックです。せつかくのおへその飾りも上から眺めると、影に隠れて見えない。

現地のひとの話では、へそ出しルックは、最近、黒人にも多くなってきたそうです。昔は、そんなに居なかったそうですが、黒人の地位が少しずつ向上してきたせいでしょうか。

しかし、黒人の場合は、へそやお尻に刺青が少ないように思えます。色が黒くてよく見えなかったのかもしれませんが、白い刺青があれば、爆発的な人気を起すかも知れません。

4、終わりに

私は、ニューヨーク生活の3ヶ月間、もっぱら観光旅行を楽しみました。息子がゴールデンウィークを利用して遊びに来ましたので、全く私の趣味に無いミュージカルも観ました。唄がすばらしいのは分かりましたが、英語は全く分かりませんでした。息子も、殆ど分からなかったようです。英会話がもっと出来れば更に、ニューヨーク生活が10倍は楽しかっただろうと一寸残念です。

私は幸いにして囲碁と言う趣味を持ち、ささやかですが、この歳で思いがけない形で世の中に貢献でき、自分でも十分楽しむことができました。

これから、広く世界で活躍が期待される若い人には、仕事上の実用的知識は勿論、自分にあつた趣味なども、忙しい日常の中でも少しずつでもやっておく事を強くおすすめいたします。

私も、これから、老骨に鞭打って、更に、英会話を勉強しようかと思案しております。

著者プロフィール

S38 芝電気に入社

S43 東北大学電気工学大学院博士課程修了。

工学博士を取得して富士通に入社。

プラズマ・ディスプレイの開発に従事。

H3 アドバンテスト役員

H14 同社顧問

H15 退社。

海外旅行で知る トルコ共和国

山口 良治 (昭 44 学精)

① 最初に感じたのが歴史が古い事です。世界遺産の1つトロイ遺跡は紀元前3千年頃の初期青銅器文明の時代から歴史が始まり、エーゲ海岸の交易の中心地として繁栄と滅亡を繰り返し、全部で9層に渡る都市遺跡を形成しています。トロイの木馬で有名なトロイ戦争は紀元前1200年頃の7層目の都市の時代です。日本の歴史が始まっていない時代に、既に都市が築かれていたのには改めて驚きを感じました。観光用に作られた巨大な木馬があり、中に入る事ができました。



② 自然の遺跡としては中央部のカッパドキア地方にある大奇岩地帯があります。キノコ状の岩に代表される奇岩の景観と地下数十mも掘り下げられた地下都市が残されています。山の噴火による火山灰と溶岩が積層し、長い間風雨に打たれて浸食が進み、堅い溶岩部が残されて不思議な形の岩となりました。又4世紀頃からキリスト教の修道士が凝灰岩に洞窟を掘って住み、見事なフレスコ画を天井や壁に残しています。地下水脈から飲料水を取り、垂直な穴で空気を取り、迷路の様な通路を介して部屋が設けられて、幾層にもなった地下都市が構築されています。

敵から身を守りながらのひたむきな信仰生活を垣間見る事が出来ました。

③ トルコの伝統工芸品としてシルク絨毯があります。シルクを使った手織で1平方センチメートルに100~400の結び目で繊細な絵柄を織ることができます。ペルシャ絨毯や中国絨毯の技術は昔遊牧民がトルコ領内を通過している時にトル

コ人が教えた技術ですが一重結びを教えて、二重結びは教えずにトルコ絨毯に残されています。二重結びは結び目が堅く、毛立ちが短く、寿命の長い高品質の絨毯を織る事ができます。現在伝統工芸技術として農村地帯の娘さんが機織りをしています。上手に織れる技術を修得している娘さんには良縁に恵まれる習慣が今も残っている地方があります。

私も記念にシルク絨毯の壁掛け用サイズの物を購入してきました。

④ 国民に慕われている建国の父アタチュルクがいます。イスタンブールに着くと大きなビルにアタチュルクの大きな肖像画の垂れ幕がありました。翌日が命日との事でした。イスラム教を国教とするイスラム世界の一員であったトルコは1922年オスマン帝国を倒して初代大統領になったアタチュルクが政教分離を断行し、イスラム教の後継者を国外追放して、現在の世俗国家を確立する革命を行ったのです。

国民の99%がイスラム教の信者であります。が生活の中に見えるのは中高年女性がスカーフを巻いている人が居る事と朝と夕方にモスクからお祈りが大スピーカーで流れる事くらいです。

⑤ トルコ人は押なべて親日家であります。それに対して、日本人は特別な親近感を抱く人はまだ少ない様です。1889年に特派使節を明治天皇の元に送り親善を深めたのが最初で、それから現在迄良好な友好関係が続いております。これからはお互いに友好の中身の充実した実体的な関係へと移行していく時期にきております。

今回の海外旅行では出発前の見知らぬトルコから魅力的な国トルコ、そしてトルコファンに変化した自分を感じる事が出来ました。

著者プロフィール

(株)東芝入社 光学文字読取装置、光ディスク装置、身分証発行装置の開発製品化を行う。来年定年。
多賀工業会東京支部“山遊会”所属

熟年夫婦 ブラジルの旅

近江 義勝 (昭 28 学電)

テロの多発等で海外旅行躊躇や高齢で長旅は難しいと思ったが勇気を出して南米ブラジルに老夫婦で出掛ける事にした。出発は5月13日(金)ロサンゼルス(約9時間40分)経由で商業都市サンパウロ(約11時間40分)に到着。ロサンゼルスで2時間給油の間、指紋及び顔写真を撮られる。サンパウロ到着後早速市内観光へ。イビラフェラ公園、パウリスタ大通り、東洋人街を見て回り空路イグアスの滝(世界最大級約4km)を見学(ブラジル側)。大小あわせて275もの滝、そして幾重にもかかる美しい虹。機内での睡眠不足からやっとホテルのベッドで疲れを癒す。

翌日はアルゼンチン側より再度イグアスの滝を自然遊歩道で鑑賞(下記写真)。又ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの3国国境に。夕方には空路リオデジャネイロ(約3時間10分)に飛ぶ。

そしてその翌日は世界三大美港の一つリオデジャネイロ観光に。リオを見下ろすキリスト像で有名なコルコバードの丘に登る(赤い登山電車で約20分)。その後世界最大のサッカー場(約10

万人収容可能)マラカナンスタジアム内見学。夜は情熱のサンバショーを楽しんだ。

5日目は空路アマゾンの大都会マナウスに(約5時間15分)。早速マナウス観光へ。マナウスは世界最大のゴム集散地。自然博物館(アマゾンに生息する生物たちが収集されている)を見学。

6日目はアマゾン河一日クルーズにてピラニア釣りを体験。釣ったピラニアは船の中で唐揚げにして一杯!!ピラニアは釣ったその日のうちに調理をすると、臭みが無く非常に美味しく食べられるとの事でした。

7日目はサンパウロ経由にて帰国の途(約12時間10分)。又ロサンゼルス空港にて指紋と顔写真を撮る。やっとの思いで5月21日(土)午後成田空港に戻ってきました。

著者プロフィール(旅歴)

- 平成12年12月 バイパス手術
- 平成14年9月 カナダ(8日間)
- 平成15年12月 オーストラリア(6日間)
- 平成16年3月 中欧4カ国(10日間)
- 平成16年5月 トルコ(15日間)
- 平成16年11月 エジプト、ロシア(10日間)
- 現在も丈夫で生活しております



光ファイバ研究一筋
長波長帯光通信を切り拓く元NTT光エレクトロニクス研究所
主幹研究員 工学博士
堀口 正治氏(昭44 学子)

[編集部から]

堀口正治さんは、電電公社(現在のNTT)に入社され通信用光ファイバと光部品の研究開発に取り組みました。その間、工学博士号(東京大学)を取得し、光通信技術において欧米から数段遅れをとっていた日本を新しい長波長帯域での光通信の提案によって一躍最先進国とし、現在使われている光通信方式を切り開いた第一人者です。

国内外で発表された研究論文は100編を超え、国際会議での学会講演も数十件を上回る活躍をされ、世界各国の研究者がごぞつて氏の論文を引用、追試し、現在の光通信隆盛時代を迎えることに貢献されました。

世界的に権威のある英国電気学会(英国 IEE)最優秀論文賞受賞や電子情報通信学会業績賞、科学技術庁長官賞など数々の受賞も受けられました。

NTT光エレクトロニクス研究所を退職後、NTTエレクトロニクス株式会社を経て、現在茨城工業高等専門学校の非常勤講師をされており。今回の訪問者は同じNTT出身の寺内賢一氏です。

* 長年光ファイバ研究で活躍されたようですが、ライフワークといえますとやはり「光ファイバ」でしょうか。

光ファイバとの出会い

人生の仕事のほとんどを「光ファイバの研究開発」に注いできた事と、多少なりとも関連の仕事をつづけていることから、「自分のライフワークは、光ファイバ」と認識しています。

「光ファイバ」との出会いは、今思えばいくつかの偶然が重なっていたと思っています。「自分が茨城に生まれた」、「大学受験(当時の一期校)に失敗した」、「茨城大学に入学し、同大学に電気通信研究所ご出身の恩師が着任されていた」、「東海村に原子力研究所があった」、「同施設を利用し新材料を開発するため電気通信研究所の茨城支所が東海村にあった」など、どれ一つ欠けても、私の

「光」との出会いは無かったかもしれません。特に印象深いのは、私が受験に失敗して浪人を考えていたとき、「浪人などせずに、茨城で頑張りなさい」と言ってくれたのは、今は亡き母親でした。

* 研究所での生活はいかがでしたか。よかったことは?

塞翁(さいおう)が馬——チャンスと挑戦

私は、幸い、百年に一度とも言われる光ファイバ技術に、偶然にもNTTが研究を開始した入社初年度に遭遇し、その仕事に約26年間も直接的、間接的に携われ、それが生きがいでした。振り返って見ますと、1971年に茨城支所が茨城電気通信研究所に昇格して以来、2002年に閉鎖となるまで、同所で一度も動くことなく光ファイバ研究と事業に専念できたことは、自分にとって大変幸運であったと思っています。

入社後、ある方から「人生には、一度や二度の劇的なチャンスが、必ず訪れるものだ。それをものに出来るか否かは、運もあるが本人の挑戦意欲だ。」と諭されたことがありました。今振り返ると、「長波長帯の研究」は、正しく私にとって「千載一遇のチャンス」であったと思っています。曲がりなりにも、現有の長波長帯光ファイバ通信システムの根幹技術に、研究者の一人として足跡を残せたことは、望外の喜びと受け止めています。

人生は、「塞翁が馬」とよく言われますが、最近、その言葉の含蓄の深さにあらためて感心しているところです。私の「光ファイバ人生」には、良いことも悪いことも全てにわたって、この言葉がよく当てはまっています。

* NTT 茨城電気通信研究所で最も思い出となることは?

最優秀論文賞受賞

研究の上では、長波長帯の開拓が最も大きな仕事になりました。NTT 研究所の強力な研究体制と研究環境には大変恵まれましたし、メーカとの共同研究体制も大きな力となりました。それに加え、数値解析、新しい測定技術、実験に適合した測定試料が時を同じくして揃えられたことは、技術的な面だけでなく、幸運とその幸運を呼び込むことにご尽力いただいた方々の力によるところが大きかったと、感謝の気持ちでいっぱいです。

それに、長波長帯の研究が一段落した段階で、副次的効果がいろいろあったことが印象に残っています。例えば、研究所幹部から「これで、共同研究が非常にやり易くなった」と聞かされました

し、この翌年以降、光ファイバ研究開発の規模が大きく拡大したと記憶しています。

また、世界的に有名な英国 IBE の Ash 教授からの賛辞の手紙を受け、当時の米沢滋 日本電信電話公社総裁が、記者会見を開かれ、「今まで光通信の研究開発では日本は後進だったが、長い波長帯を使用することによって米欧に追いつき、追い越すことが出来た。これが、世界最優秀の評価を受けたことはうれしいことだ」と発表し各紙に報道されました。

* その後の通信用光ファイバ研究は、どのように展開しましたか。

実用化への道—量産技術、経済性、信頼性

光ファイバ研究の材料的な基本研究では、MCVD 法の研究進展により 1977 年頃までにその大部分が解明されました。しかし、公衆通信への実用化に向けて、さらに多くの研究開発が必要でした。

光ファイバ自身は、構造も材料も極単純なものでしたが、基本材料が新しい石英ガラスであったため、光ファイバの製造技術、測定技術のほか、非常に広範囲の技術の応用と開発が必要でした。これらを、研究所の部品材料担当と光線路担当が、分担して開発していったわけです。あわせて、ケーブルメーカー三社との共同研究が、1975 年から 1980 年の三期にわたって強力に推進されました。

製造技術については、1975 年に国産自主技術の開発の観点から光ファイバ母材の量産技術として VAD 法が開発され、現在では商業ベースで、大量の光ファイバの生産に使われています。

光ファイバの経済化技術も重要な開発項目でした。光ファイバが種々の伝送特性の観点から、その優秀性は万人が認めるどころでしたが、いくら性能に優れていても、従来の銅線ケーブルの価格を大きく上回るようでは、公衆通信用としては使ってもらえないことは自明でした。当時のペアケーブル（銅線）の価格は、約 5 円/m 程度でしたが、光ファイバは、生産量も少なかったこともあり～数百円/m もしていました。経済化に向けた多くの技術開発と量産化技術の向上により、生産量も大幅に伸び、現在では、光ケーブル 1 芯当たり 3～4 円/m の低価格になっていると聞いています。驚くべき進歩と言って良いでしょう。

光ファイバの長期信頼性については、1982 年 6 月に予想もしない事態が発生しました。試験用に布設していた光ケーブルの損失が、経時変化を起し大幅に増加していることが発見されたのです。

この主な原因は、「光ファイバの被覆材料中に微量残留していた水素が、布設中にガラス内に拡散して吸収損失を引き起こす現象」であることが解明



堀口博士 ホテルのロビーにて

され、この対策がなされた結果、光ファイバケーブルは、20 年以上安定に使用できる、極めて信頼性の高い部品であることが確認されました。現在、光ケーブルは、極めて高信頼性の要求される海底光通信方式用としても大量に使用されていますが、この陰には上記のような地道な研究開発があったことを忘れてはならないでしょう。

* 光ファイバ以外で研究開発に当たったものはありますか。

光増幅器

私の 26 年間の研究生活の中で、光信号を直接増幅することの出来る「光ファイバ増幅器」の研究は、特に興味深く、熱中できる研究でした。光増幅器の研究には、約 7 年間携わりました。

先ず、増幅効率の競争が先行しました。我々のグループでは、Er（エルビウム）添加光ファイバの NA（開口数）を極限にまで大きくすることにより、増幅効率を飛躍的に高められることを見出し、1990 年に光増幅効率 11.0dB/mW を達成し、国際会議で発表いたしました。この値は、光励起のエネルギー 1mW 当たり小信号光を 11dB 増幅できるもので、画期的な効率でした。この値は、私の知る限り、いまだに破られていません。

* 光ファイバ通信の今後の課題はどこにあるのでしょうか。

FTTH、ブロードバンド通信時代

中、大容量の光ファイバ通信網が、国内では全国各地に布設された現状を考えると、最も重要な課題は、各家庭や事業所まで光ファイバを引き込む、光加入者伝送方式；FTTH（Fiber To The Home）の全国規模での普及と思われます。NTT を始めとして、FTTH への設備投資がさらに進めば、真の意味で「光ファイバ通信時代」の到来となり、様々なサービス向上が期待できると思います。

（次頁下段 ★印へつづく）

ご挨拶

本部事務局の一員として

東 貞 男 (昭 31 学電)



私は平成4年4月からの12年間を、仙台における私立大学で愛すべき学生や熱意ある教職員と共に過ごして参りました。勤務当初は、私立大学新設の一端を担う仕事を与えられ種々の折衝を通して理工系短大の創立

から、やがてその組織を礎にした3学部5学科を有する総合大学へと転換を図ることができ、完成年度の2年後を迎えた平成16年3月に定年退職、郷里へと戻って参りました。そして現在は、多賀工業会館事務局内の事務局に身を委ね、事務的な仕事をさせていただいております。

前述の仕事を含めて、教育機関という意義ある組織の中で40年余りを私は教員としての役目を分担して参りました。多くの人達が組織の人間として全身全霊を傾けて仕事を遂行していると同様に、教員の仕事だけに一生懸命取り組んできただけに、教育関連外の仕事内容には極めて疎いことに気付き始めております。「大学とは眼に見える外観だけの存在ではなく、学生・教職員を中心とした有機的な組織を指して言う」のであって、そこ

★(前頁からつづく)既に、一部では、FTTH用として1Gb/sのブロードバンドサービスが実施されています。ちなみに、現在私の使用しているADSLは、やっと2Mb/sです。

一方、大容量光通信技術については、波長多重通信や40Gb/s光伝送技術が完成しており、FTTHによる今後の伝送容量の飛躍的増加予測に対し、十分対応できる技術が構築されています。数十Gb/sで数百チャンネルの光伝送も実用化の時代に入ってきていると言えます。インターネットや放送も取り込んだ本格的な光ファイバ通信は、光ファイバ研究の開始後三十数年を経て、まもなく実現の時期を迎えようとしています。光ファイ

には人を中心とした崇高な働きが見られるものと思います。同様の組織と考えられる同窓会は、単に卒業生の集合団体としてではなく、母校愛と友愛との気持ちを傾け続ける精神的な共同体であるとの認識に立つ必要を感じております。

多賀工業会の支部活動では、どうしても若年層の働きを期待できない悩みもありますが、現在、準会員である在学生をも含めて現役の企業人として努力奮闘している若手会員の精神的な支えとして存在感を示しながら、心暖かく迎え入れる準備をしておきたいと思っております。

本部事務局の一員としての役割は、支部事務局との連携、理事長をはじめ役員・幹事諸氏を補佐することにあると考えておりますし、私なりの努力を傾け頑張って参ります所存ですので、今後ともよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

著者プロフィール

昭和9年3月8日、日立市に誕生。

昭和38年4月 茨城大学工学部へ奉職、

精密工学科、工短電子工学科、システム工学科を歴任。

平成4年4月 学校法人東北文化学園へ奉職、科学技術短大、文化学園大学、東北文化学園研究所を経て平成16年3月定年退職。

研究分野：デジタル信号処理に関する研究。
工学博士。

バの開発技術者の一人として、少しでも早い本格的な光ファイバ通信の普及を望んでおります。

インタビュー後記

水戸市の三の丸ホテルロビーにてお会いした堀口正治氏は物静かに語る中にも光通信技術には並々ならぬ熱意を秘めた温厚篤実な紳士でした。自然環境保護への熱い思いから国内外の自然探訪、写真、園芸、絵画、クラシックから演歌までの音楽、将棋、ゴルフと幅広い趣味を持って現在を謳歌しておられるとのことでした。

世界の第一人者が多賀工業会の中におられることの誇りを同窓の一人として実感したひと時でした。

寺内 賢一 (昭 38 学電) 記

支部めぐり

栃木県支部の紹介

瀧 宏 (昭33学原)

多賀工業会東京支部の皆さん今日は！。

貴支部の会報「支部めぐり」で栃木県支部の紹介をして頂けるとの事で、ご承知の事とは思いますが、以下申し述べてみました。



昭和59年3月11日、多賀工業会の8番目の支部として発足しました。昨年は20周年にあたり記念パンフレット「エンジニアのこころ」と題した、20年の歩みを表にして発行いたしました。(若干手持ちが有りますご希望の方は申し出ください) 初代支部長一益田敏夫(昭20専精)、2代目一菱田武彦(昭23専電)、3代目一入江節巳(昭25専通)、4代目一小沼新作(昭30学機)です。会報は4年後の昭和63年創刊です。

現在、栃木県支部は「名簿会員」600余名(名簿会員とは卒業名簿等あらゆる名簿で、栃木県在住又は、栃木県勤務の方)「会報会員」400余名(毎年会報の発送対象の方)「会費納入会員」約120名です。

年間予算55万円(本部援助金11万円、総会・懇親会の特別会計も含む)です。

栃木県支部も4年前までは、総会(講演・懇親会を含む)、会報の発行を主にその為の役員会、幹事会を年間3~5回行うといった状況でした。平成14年より先輩支部にならって同好会を設け、支部会員の参加を得ようと企画しました。どの様な同好会を設けるか? アンケートで参加希望者を募ったりして次の同好会を発足させました。

①ゴルフ ②囲碁 ③トレッキング(ウォーキング、写真等を含む) この中で順調な結果を残した③トレッキングについて、紹介いたします。

参加希望した人の脚力、体力、参加のねらいは(健康、見聞、..) 題目があると格好が付くかと、当時は、芭蕉の「奥のほそみち」が話題になっていた時だと思えます。(栃木の「奥のほそみち」と言った本も何冊かあります) “栃木の「奥のほそみち」を尋ねて” を題目にしてトレッキングすることになりました。

第1回 埼玉県JR栗橋駅 ⇒ 利根川を渡って茨城県古河市 ⇒ 栃木県JR野木駅まで16km(ちなみに芭蕉は春日部から間々田までを1日で歩いている) 栃木の「奥のほそみち」全工程を歩くのは困難、曾良の勧めで回り道をした「室の八島」は交通が不便で今は見るところもない。日光、黒羽、白河の関、4ヶ所、2年掛けて終了としました。此のトレッキングには千葉支部の塚越氏(昭25専電) 檜山氏(昭30学機)の参加も頂きました。



「奥の細道行脚之図」
森川許六画(天理大学
附属天理図書館所蔵)

2004年は栃木県の名のあるハイキングコース(塩原溪谷遊歩道、足利行道山ハイキング)。今年は栃木県の歴史にかかわるところ(「那須の疏水」)を予定しています。題名を選んで、一寸嗜好を凝らすと、計画内容が見えてきて、参加し易くなるのかと思います。担当幹事は葉書1枚の案内で当日集まった人で実行、飲食物は自分もち、従ってわりと容易、今までのところ6~10名ぐらい、それでも列が乱れたり、コースの調査、時には目的地までの移動に車を出したりは大変です。泊まりが有ると、ゴルフや囲碁と同じ人数を決めて申し込みをしています。トレッキングが順調に行われているのは、担当幹事の努力の賜物です。

これからは、此の様な企画がタイムリーに同好会以外の会員にも知らせる事が出来るような仕組み(参加経験の上で同好会に加入、他支部の方の参加も歓迎)。支部の同好会活動に対する支援(今は活動経費の請求があれば援助)をどうしていくか、探求している所です。良い手法をお持ちでしたらご教授願います。

内容がトレッキングに偏りましたが、他には、話す程のものはないとご理解ねがいます。

著者プロフィール (旧姓 稲見)

昭33年 原動工学科卒 (株)三協精機 入社
昭36年 同社を退社 (株)富士通 入社
平4年 同社を定年退社 (株)三英工業 入社
平10年 (株)三英工業 退社

お知らせ 囲碁同好会

部長 山下 正明 (昭 32 学電)

平成 12 年 2 月に 4 名で発足した囲碁同好会も、現在会員 32 名を擁する規模になり一段と活況を呈してきております。囲碁大会は日本棋院東京本院で年 4 回 (2.5.8.11 月) 定期的に開催しており、参加者の多いときは 20 名以上で熱戦を繰り広げております。ルールは日本囲碁規約に則り行なっています。段級は基準点を設け段級設定し、対局結果により 1 勝敗毎に 1 点増減してゆき、他段級の基準点に達したとき新段級に移行するシステムです。また大会終了後は、近くの飲食店で杯を傾けながら囲碁談義に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしております。

大会の運営内容は回を重ねる毎に充実してきております。第 10 回大会から入賞制度を設け、成績順位は準スイス方式で決めています。現在では優勝～5 位およびラッキーセブン賞と奨励賞 (最下位) を設けております。また第 10 回大会からは

対局時計を使用し、よりシビアにするようにしました。対局場は第 19 回まで 2 階の一般対局室を使用していましたが、第 20 回から 6 階の和室を使用するようにしました。

第 10 回大会以降の入賞者および会員は下表の通りです。囲碁をたしなむ方は棋力の如何を問わず、奮って当会に入会されることを歓迎します。入会希望者は連絡窓口までご一報してください。



入賞者

大会	優勝	準優勝	3 位	4 位	5 位	7 位	奨励賞
第 16 回	桜井二段	小白井三段	山下六段	宮木二段	—	田口五段	小波初段
第 17 回	新沼四段	兼子二段	佐藤 1 級	広瀬二段	田北二段	寺内三段	山下七段
第 18 回	田崎二段	森 六段	新沼四段	豊田三段	小白井三段	寺内三段	照沼四段
第 19 回	山下七段	高橋孝二段	幸道初段	桜井二段	田口五段	田中四段	近江 3 級
第 20 回	高田三段	阿部二段	豊田三段	関 三段	照沼四段	寺内三段	田口五段
第 21 回	真下六段	森 六段	寺内三段	高田三段	小室哲四段	石川二段	矢萩五段
第 22 回	穂坂初段	広瀬 二段	田中四段	森 六段	関 二段	佐藤 1 級	兼子二段

(注) ①和数字は段位・算用数字は級位を示す。②奨励賞は最下位

会員名簿 (卒業年度・学科・氏名・段級) …… 5 月末現在

22 専通	幸道貞一初段	28 学機	関 英雄三段	28 学機	小白井和典二段
28 学機	高田丈夫三段	28 学機	近江義勝 4 級	29 学金	照沼 清四段
30 学電	阿部 哲二段	30 学原	石川英二二段	31 学原	山崎慎一郎初段
32 学電	小室秋生四段	32 学電	田口嘉男五段	32 学電	田崎耕八二段
32 学電	山下正明七段	32 学金	穂坂邦光初段	33 短電	佐藤 馨 1 級
34 学電	高橋孝雄三段	36 学機	小波倭文朗初段	36 学機	真下知行六段
36 学金	小室哲夫四段	37 学電	田北嵩晴初段	38 学機	桜井 衛二段
38 学機	豊田元雄三段	38 学電	兼子八郎二段	38 学電	寺内賢一三段
38 学電	新沼厚生四段	38 学電	広瀬行一二段	38 学電	矢萩 久五段
39 学電	原 俊彦四段	40 学化	北村勝昭五段	40 学化	高久 洋二段
40 学化	田中栄太郎四段	40 学化	森 俊和六段		

囲碁同好会連絡窓口

〒178-0065 東京都練馬区西大泉 3-25-10
山下正明

TEL & FAX (03) 3922-2143

E-mail yamashita2143@mbh.nifty.com

ゴルフ部

幹事 兼子 八郎 (昭 38 学電)

平成 16 年 6 月 3 日 (木)

川崎国際生田緑地ゴルフ場で千葉県支部と埼玉支部からのお客様を招いての三支部対抗懇親ゴルフコンペを行いました (既報)。

平成 16 年 10 月 12 日 (火)

小田原城カントリー倶楽部にて 参加者 山口 (35 学機)、林 (35 学機)、田北 (37 学電)、橋本 (37 学金)、桜井 (38 学機)、兼子、北島 (39 学機)、小林 (39 学機)、高久 (40 学化) 以上 9 名で行われました。

成績 (新ペリア方式) は下記のとおりです。

優勝 山口、2 位 小林、3 位 桜井、BB 林
BG : 小林、DC : 桜井、兼子、NP : 該当なし

3 組フルに揃う手筈になっていたのに、直前になってアクシデントが起き、全てが 3 人/組と云うプロなみの進め方となりました。

Start は (IN10) 崖っぷちからの打ち下ろしです。ところが崖の向こうは何も見えないほどに濃霧が架かっているのです。そうこうして順番を待っている間に、一瞬霧が晴れ崖下の方がよく見えました。キャディが「この光景をしっかりと頭に入れておいて下さい」と言いましたが、小さい脳には入りませんでした。

映画館に行って真っ白いスクリーン日がけてスウィングするような感じでした。しかし打たねばなりませんから、度胸を決めてドライバーを思い切り振りました。ナイスショットと云われたので真っ直ぐ飛んで良かったと胸をなで下ろしました。

何一つ見えざる前方睨みつけ

振り下ろしたり霧中の一打

しかし下に行ってみると

ナイスショットと云はれたけれど我が球は

何処にも見えずみち違へしか

後半は雨中でのプレーとなりました。

今回はこれまで部長を務めて頂いた幸道さんに替わり、跡継ぎとなった山口さんの就任祝いとなりました。ミーティングの席では林さんがスクールに通ってきちんとした練習をしていることなどが紹介されましたが、高齢になってからの学習意欲に脱帽! と云ったところです。

平成 17 年 5 月 17 日 (火)

前回同様に小田原城カントリー倶楽部にて参加者 難波 (23 専機)、山崎 (28 学電)、玉川 (28 学電)、山口 (35 学機)、林 (36 学機)、田北 (37 学電)、橋本 (37 学金)、桜井 (38 学機)、兼子、黒羽 (38 学精)、北島 (39 学機) 以上 11 名で行いました。

成績 (新ペリア方式) は次の通りです。

優勝 兼子、2 位 難波、3 位 山崎、

BB 桜井

BG : 黒羽、NP : 山崎 (2)、黒羽、兼子

今回は快晴に恵まれ絶好のゴルフ日和でした。当初 14 名の参加申込みがありましたが、直前になって健康上のことなどで 3 名の方が不参加となりました。年配者の集まりですから、やむを得ぬことかと思えます。

参加者 11 名で楽しい一日を過ごしました。山崎さんの NP2 個が光りました。そう言う小生も OUT 2 (192y)、タラコで打った球が当たり損ねたと思ったのですが、コロコロ長旅をして Pin の傍を通り抜けて 30cm 位の所に止まりました。

(自分は遠くは見えないので傍に行ってから分かりました)。この時のキャディは「入るんじゃないかと冷や冷やしました」と云いました。

報告書を書いている小生が世話役の幹事を務めました。自分で優勝を貰ってしまって何か申し訳ない感じもしています。それにしても新ペリア方式というのは不思議な事が起きるものだと思います。今回は BB となった桜井さんと生データでみると、

	グロス	グロス順位	HDCP	総合順位
兼子	52+50	6	28.8	1
桜井	51+50	4	15.6	10

隠しホールとなった 12 ホール (パー合計 48) で自分は 72 (ダボペース) も叩き、桜井さんは 61 (ボギーペース) しか叩いていないのです。ここで自分は $(72-48) \times 1.2 = 28.8$ で、桜井さんは $(61-48) \times 1.2 = 15.6$ と計算され、HDCP に大きな差が生じたのでした。こんな訳ですから、くじ運が幸いした優勝というところです。

連絡窓口 (入会歓迎です!)

兼子 八郎 TEL 045-891-2232

E-Mail nyanko8686@hotmail.com

写真部

写真部長 玉川 信二 (昭 28 学電)

東京支部の隣の埼玉支部には以前から写真同好会があり、撮影ばかりでなく仲間同士の遠足もかねてその名もワンダーフォトクラブという会があります。東京支部でもこれに倣って一昨年写真同好会を結成し、年に数回撮影会と作品の批評会を行っています。また支部総会のときは会場に作品を展示し、会の活動を発表しているのは、皆様ご覧になっていると思います。

撮影の指導者として、埼玉支部の講師でもある斎田和夫氏(昭 28 学機)をお願いして撮影会にはたびたび参加して頂いています。氏は学生時代から写真撮影に長じ現役中カメラメーカーで設計のかたわらすばらしい作品を撮影され、国際写真展でグリーンリボン賞を受賞されたばかりでなく、国内でも数々の写真展で受賞された写真家であり、定年後も写真作家協会をはじめ多くの協会の要職にあり、写真のハード・ソフトともにこなす専門家であります。そのように非常にお忙しい身分でありながら、埼玉支部とともに我々の撮影会にも参加されて指導に当たられています。

支部写真部の撮影会は下記のように撮影の対象を絞って実施し、たとえば堀切菖蒲園では満開の花を、高尾山では色づいた紅葉を、上野動物園では動物たちの可愛い姿を撮るようにしています。講師の斎田氏からは「花を撮る時には霧吹きで水

をかけ花に輝きを出しなさい」とか、「紅葉を撮る時は色に惑わされずモノクロで撮っても美しく見えるように構図やコントラストを考えなさい」というような、専門的なご指導を頂いています。

支部写真部は今後も従来どおり撮影会と作品の批評会を続けて行きたいと考えています。なお撮影会の終了後と批評会の時は、飲み物と肴を十分揃えて、撮影の苦労をねぎらい会員の忌憚ない意見が出せるよう、かつ会員の親睦が図られるように進めております。現に昨年の支部報の表紙の写真「語らい」は、昨年の新年会に提出され会員の推薦による最優秀作品です。同好会の今後の活動を更に活発にするため皆様のご参加とご意見をお待ちしています。

会の活動記録

2003 年

6 月 21 日	堀切菖蒲園	菖蒲の撮影会
7 月 20 日	池袋 簡保会館	作品批評会
11 月 16 日	高尾山	紅葉の撮影会

2004 年

1 月 17 日	荻窪 魚耕	新年会
4 月 22 日	上野動物園	動物の撮影会
11 月 13 日	川越市内喜多院・東照宮・蔵の町・時計台等の撮影会	

2005 年

1 月 27 日	新宿 虎連坊	新年会(写真下)
----------	--------	----------



山遊会

山遊会会長 小宅 仁(昭36学電)

平成16年度実施行事の報告を行います。本年度は、山遊会発足後2年目にあたり会員の定着及び会の運営についても慣れてまいりました。山遊会旗のもとに集う新会員も少しずつ増加し、10人前後のパーティー活動となり少しばかり賑やかな登山になってまいりました。現在の登録会員は22名となっております。

以下に平成16年度の報告を記します。

1. 第4回 霧ヶ峰・八島湿原・車山&北横岳登山

平成16年7月10日(土)&11日(日)

登山企画及び登山リーダー:

田崎耕八(昭32学電)

参加者: 9名

雨天の場合は登山グループと観光スポット巡りのグループとに分かれて行動することになっていたが、参加者全員(9名)が登山することになった。2つのリフトを乗り継いで僅か15分ばかりで標高1,925mの車山頂上へ着いてしまった。物見石に着いた頃には雨も止みやれやれと言ったところであったが、見晴らしはイマイチであった。釜ヶ池キャンプ場で昼食を摂り、八島が原湿原の木道を通りつつ、咲き誇る高山植物を鑑賞した。「あざみの歌」の歌碑を見つけ、ここで作られたことを知った。八島が原から車山に向かう途中で激しい雷雨があり、ヒュッテ御射山(みさやま)で15分ばかり雨宿りをして雷雨の止むのを待った。車山肩のコロボックルヒュッテを過ぎてから、2班に分かれ健脚班は車山山頂を目指し、もう1班は車山巻道班に入って平坦な道を歩いた。諏訪のかんぼの宿に着いたのは17:00を少し回った頃であった。2日目は諏訪神社上社へ参拝し、ピラタス蓼科ロープウェーを利用し坪庭まで上ってしまう。ここから2時間ばかり歩いて北横岳頂上に辿り着いた。今日は昨日の雨ほどではなかったものの、視界不良で東西南北何も見えず、早々に坪庭に下山し頂上駅1400発のロープウェーでお

り、その時点で散会となった。

2. 第1回 特別企画 塔の岳登山

開催日: 9月12日(日)

登山企画及び登山リーダー:

桜井 衛(昭38学機)

参加者: 9名

小田急線「秦野駅」に8時00分に集合し、バスでヤビツ峠まで行き登山を開始した。丹沢の表尾根を歩くので大変景色が良いはずが、あいにくの天気で黙々と歩く登山となってしまった。公営休憩所の「どんぐりハウス」で、ビールで乾杯の山祝いをしてお開きとし、帰路についた。累積登山高度: 約800m、累積下山高度: 1000mで少しばかりきついコースでした。

3. 第5回 弘法山~鶴巻温泉ハイキング

開催日: 平成16年10月31日(日)

登山企画及び登山リーダー:

桜井 衛(昭38学機)

参加者: 9名

小田急線「秦野駅」に9時10分には全員が集合し、すぐに弘法山に向い出発した。10分ほど歩いたところの小公園でストレッチ体操で体をほぐし、身支度を再度整えてのスタートとなった。前日までの大雨も予報どおりに晴れて、笠雲を抱く富士山がくっきりと見える良い天気となり参加者は大喜び。弘法山自体が237.1メートルと低いこともあり、途中の「浅間山」「権現山」あっという間に過ぎて、12時には弘法山「釈迦堂」に到着した。めんようの里を過ぎたところで、みかんの木の手入れをしているご夫婦に会い、13個200円でみかん狩りをしながら、1時20分ようやく「吾妻山」の休憩所に着いての遅い昼食となりました。小一時間の昼食休憩後、10分ほどで鶴巻温泉「弘法の里湯」到着、入浴後のビールで山祝いをし、無事散会となった。

4. その他

幹事会 第1回 開催日 2004/6/9

参加者 5名

第2回 開催日 2005/2/28

参加者 8名

平成16年度会費納入者

(平成16年4月1日～平成17年5月31日まで)

☆は平成17年度分納入済 (敬称略、順不同)

昭16専機 大矢 純一	昭20専原 友保 伊弘	昭23専金 山崎 義一	昭26専通 宮島 亮
昭16専機 森本 裕	昭20専精 山田 初太郎	昭23専電 塩野 譲	昭26専舶 井坂 孝
昭16専原 小川 義夫	昭20専精 田島 廣一	昭23専電 保坂 昭三	昭26教電 ☆境井 繁夫
昭16専原 佐野 健蔵	昭20専電 大関 純	昭23専通 荒川 宣夫	昭28学機 坂場 昭二
昭16専原 林 義雄	昭20専電 加藤 慶祐	昭23専通 岡山 保男	昭28学機 高田 丈夫
昭16専精 浅田 敬二	昭20専電 柴田 信夫	昭23専通 土田 健	昭28学機 小白井 和典
昭17専機 大野 三知雄	昭20専電 都築 久一	昭23専通 馬場 昭	昭28学原 戸島 日出雄
昭17専機 岡崎 幸晴	昭20専電 堀毛 一彦	昭23専通 広瀬 琢朗	昭28学原 柳沢 裕
昭17専機 ☆田邊 邦行	昭20専通 山本 奎兵衛	昭23専通 ☆松沢 清次	昭28学原 山口 茂男
昭17専原 鏑木 正	昭22専機 ☆小亀 秀郎	昭23専舶 森 栄一郎	昭28学電 稲見 孝
昭17専原 久米 武男	昭22専機 佐藤 喬太郎	昭23教電 斉田 耕平	昭28学電 近江 義勝
昭17専金 ☆田邊 良美	昭22専機 富山 栄	昭23教電 千野 吉治	昭28学電 玉川 信二
昭17専金 依田 連平	昭22専機 立花 浩	昭24専機 白土 四男	昭28学電 橋本 久美
昭18専機 菅原 庄一	昭22専原 唐沢 繁美	昭24専機 戸田 慶昭	昭28学電 大森 通
昭18専機 宮崎 至誠	昭22専金 土居 浩一	昭24専機 若林 麟介	昭28学電 中原 太平
昭18専機 山本 栄治	昭22専金 沼 鶴彦	昭24専原 久須見 弘	昭28学金 赤城 清
昭18専精 立枝 茂男	昭22専金 明石 和夫	昭24専原 真中 和夫	昭28学金 古市 長
昭18専金 ☆市島 健男	昭22専電 野坂 賢司	昭24専精 岡 伸考	昭29学機 雨澤 道雄
昭18専金 山田 実	昭22専通 ☆菊地 契吉	昭24専精 平木 康一	昭29学機 今村 純一
昭18専電 関根 宗一	昭22専通 幸道 貞一	昭24専電 白石 壽男	昭29学原 ☆石橋 弘
昭18専電 八角 方二	昭22専通 小塚 潔	昭24専通 戸木 禮一	昭29学原 大久保 半吾
昭18専電 北條 英雄	昭22専通 谷口 貞作	昭24専舶 小峰 弘	昭29学原 奥野 真治
昭19専機 ☆掛川 宗三郎	昭22専通 中村 弘	昭24専舶 杉山 六郎	昭29学電 寺門 孝雄
昭19専機 平山 光信	昭22専通 林 猛雄	昭24教機 福地 三郎	昭29学電 森 章太郎
昭19専原 川尻 悦三	昭22専通 平林 立	昭24教電 ☆浦井 猛	昭29学金 照沼 清
昭19専原 朽本 二郎	昭22専通 前田 豊昭	昭25専原 忍田 邦夫	昭30学機 佐藤 久弥
昭19専原 藤田 勲	昭22専通 丸川 武志	昭25専精 京野 五一	昭30学機 田口 忠夫
昭19専精 小泉 篤	昭22専通 今井 俊夫	昭25専電 塩田 昭三	昭30学原 成井 浩
昭19専精 橋本 良夫	昭22専通 保坂 博	昭25専電 高橋 清	昭30学原 石川 英二
昭19専精 渡辺 益男	昭22教電 石神 由範	昭25専電 村山 錦右	昭30学原 鈴木 日出男
昭19専精 柳田 裕美	昭23専機 ☆内山 哲夫	昭25専通 川野辺 勉	昭30学電 木村 好延
昭19専精 柴 敏夫	昭23専機 梅田 政夫	昭25専通 ☆高橋 章	昭30学電 阿部 哲
昭19専精 飯田 栄三	昭23専機 高田 浩	昭26専原 ☆永山 正美	昭30学金 黒沢 正蔵
昭19専金 大鷹 浩介	昭23専機 ☆難波 靖治	昭26専原 渡邊 貢	昭30学金 三本木 武
昭19専電 浅見 隆	昭23専原 飯島 公正	昭26専精 関内 正	昭31学機 早乙女 保二
昭19専通 酒井 忠光	昭23専原 名島 龍雄	昭26専金 有賀 久	昭31学機 横山 亨夫
昭20専機 岡本 公夫	昭23専原 藤原 健之輔	昭26専金 葛目 義郎	昭31学原 瀬在 城雄
昭20専原 海老原 謙次郎	昭23専金 菊地 秀利	昭26専通 菊地 玲二	昭31学原 山崎 慎一郎

* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。未納の方はご入金をお願いいたします。
Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

昭31学電	大内 孝	昭36学機	小波 倭文朗	昭38学電	☆田川 政行	昭40学金	松本 二郎
昭31学電	藤川 俊明	昭36学電	入江 弘志	昭38学電	新沼 厚生	昭40学化	☆高久 洋
昭31学金	石川 量大	昭36学電	☆小宅 仁	昭38学電	☆橋本 政巳	昭40学化	田中 栄太郎
昭31学金	細井 陽子	昭36学電	☆佐伯 明良	昭38学電	☆矢萩 久	昭40学精	大泉 雅靖
昭32学機	川又 俊夫	昭36学電	竹村 恭嘉	昭38学電	☆熊谷 文男	昭40短機	篠田 颯男
昭32学機	國井 榮次	昭36学電	橋本 正直	昭38学電	高萩 隆司	昭41学電	佐藤 博司
昭32学機	柴田 勇治	昭36学金	鈴江 芳雄	昭38学電	小島 淳	昭41学精	高橋 徹男
昭32学機	溝口 知昭	昭36学金	高信 和明	昭38学電	坂野 栄	昭42学機	菅谷 禎男
昭32学原	越田 俊郎	昭36学金	松本 豊	昭38学電	☆橋 弘	昭42学電	小林 健三
昭32学原	矢野 睦男	昭37学機	坪 弘	昭38学電	寺内 賢一	昭42学金	☆小菌井 健
昭32学原	榊原 康夫	昭37学機	野本 光彦	昭38学電	☆広瀬 行一	昭42学精	下ノ村 勇
昭32学電	田口 嘉男	昭37学電	田北 嵩晴	昭38学金	藤田 靖夫	昭42学精	山本 蕃
昭32学電	田崎 耕八	昭37学金	☆篠原 康祐	昭38学化	☆大塚 進	昭43学子	佐藤 将彦
昭32学電	山下 正明	昭37学金	橋本 善巳	昭38学化	高木 二郎	昭43学子	鈴木 弘道
昭32学電	渡辺 英雄	昭37学化	寺門 紘	昭38学化	松浦 正明	昭44学子	常盤 浩央
昭32学電	小室 秋生	昭37学化	阿部 徳治	昭38学化	☆矢部 功一	昭44学精	☆菊地 政行
昭33学機	奥 康治	昭37短機	白川 勇一	昭38学精	黒羽 昇	昭44学精	山口 良治
昭33学原	山崎 勝雄	昭38学機	河上 弘一	昭38学精	矢嶋 國男	昭46学電	☆飯塚 英一
昭33学原	吉久保 節男	昭38学機	小林 一	昭39学機	☆寛 逸男	昭46学電	大久保 栄治
昭33学金	三浦 陽	昭38学機	駒場 方耀	昭39学機	北島 正保	昭46学子	大崎 孝明
昭33短電	佐藤 馨	昭38学機	桜井 衛	昭39学機	小林 章夫	昭46学子	栗原 功幸
昭34学機	藤田 邦男	昭38学機	佐藤 幸一	昭39学機	溝口 香織	昭47学機	野木 映美
昭34学原	粕谷 宏夫	昭38学機	丹下 宏	昭39学機	持田 幸武	昭48学機	☆金子 芳久
昭34学電	☆千葉 克男	昭38学機	寺門 章	昭39学機	須藤 和英	昭49学精	佐藤 茂巳
昭34学電	高野 史雄	昭38学機	中村 好秀	昭39学電	黒崎 貞之	昭50学子	☆松田 実
昭35学機	宇留野 清	昭38学機	長谷川 幸夫	昭39学電	☆原 俊彦	昭51学金	鈴木 聖一
昭35学機	高野 久弘	昭38学機	半田 守正	昭39学金	☆横山 安行	昭53学電	水島 好彦
昭35学機	山口 宣之	昭38学機	牧山 永三	昭39学化	森藤 武	昭53学化	成田 芳徳
昭36学機	☆柏木 尚	昭38学機	徳江 影英	昭39短機	猿田 俊彦	昭56学精	☆松本 久幸
昭36学機	上月 秀俊	昭38学機	大原 節	昭40学機	阿部 国土	昭58学電	深作 浩
昭36学機	笹生 右	昭38学電	今橋 富美男	昭40学機	熊倉 通	昭61学機	伊藤 誠二
昭36学機	林 輝	昭38学電	大久 忠雄	昭40学機	栗原 宏一	平04学情	秋山 英樹
昭36学機	☆真下 知行	昭38学電	兼子 八郎	昭40学機	高野 隆明	平08院生	東 學
昭36学機	松本 延四郎	昭38学電	後藤 紀夫	昭40学機	武田 紀男	平16院電・子	☆根本 英次
昭36学機	☆森永 隆宏	昭38学電	小林 渡	昭40学電	山崎 輝行	平16院物	青木 希仁
							合計 292名

平成16年度寄付者名簿

ご寄付有難うございました。
(平成16年4月1日～平成17年3月31日まで)

昭31学原 瀬在 城雄 10,000
昭58学電 深作 浩 8,000

昭39学電 原 俊彦 100,000

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。

東京支部ホームページ (HP) について

HP編集委員 矢野 睦男 (昭32学原)

幹事会の討議の中で、今はやりのインターネット上のホームページを東京支部としても活性化の手段の一つとして開設しようとの話がまとまり、本部サーバーの一部を借りて開設することとなりました。

ホームページ開設の目的は以上のような経緯から、幹事会と会員間の情報連絡の手段と考え、掲載する内容は

1. 会則
2. 総会の案内と報告
3. 幹事会報告 (要点)
4. 同好会の活動予定と報告
5. 会員の投稿記事 (随筆、旅行記、写真など)
6. 会員のHPへのLINK集

に絞り込むことにしました。2004年6月より準備

を始め、同年10月1日に正式に開設しました。開設に当たっては本部の関係者にご援助を頂きましたことこの場を借りてお礼申し上げます。

開設以来アクセス件数は602件(2005年5月30日現在)、会員数に比べるとまだ少ないと思いますが、このアクセス数は同じ方が2度以上アクセスしてもカウントされない設定となっておりますので、総会への参加者数などと比較するとそれなりの効果は得ているものと考えます。

会員の皆様がホームページを閲覧することによって、幹事会や同好会の活動状況などを知り、親しみをもち、何らかの形で会の活動に参加していただければと、心より願っております。

ホームページのアドレス (URL) は
<http://www.taga.admt.ibaraki.ac.jp/sibu/tokyo/>
本ホームページに対するご意見などありましたら編集室のメールアドレス
E-mail:taga-tokyo@yahoogroups.jp
へご連絡をお願いします。

編集後記

★昨年からはじめたインタビュー記事「活躍人訪問」先は、元NTT光エレクトロニクス研究所堀口正治氏(昭44学子)。光ファイバ研究一筋で、世界の第一人者となり、開発した光ファイバ長波長帯光通信が日本を世界の最先端国に引き上げ、今日のブロードバンド時代・ユビキタス時代の到来の魁となった。同窓の一人として誇りに思います。

グローバル時代を反映してか海外関連の随筆が数多く見受けられました。上月秀俊氏(昭36学機)の「海外駐在冷や汗体験」は東南アジア諸国、中でも反日デモが吹き荒れた中国で活躍する企業人にとって大変参考になる体験談でしょう。発展途上国にとって貧富の格差の解消、エネルギー、環境破壊の問題等山積しており、日本の果たすべき役割は今後益々重要となると思います。新沼厚生氏(昭38学電)の「ニューヨーク雑感」趣味囲碁を通じて観光旅行を兼ねた新しいボランティアの形です。玉川信二氏(昭28学電)の「女性が強いモンゴル国」は国の内情をよく観察された面白い読み物です。今回も若い方や女性の方の投稿は、実現出来ませんでした。編集者一同は同窓の皆様のご協力で来年は是非とも実現したいと念

願しております。(小林、菅谷)

★このほど日立総合と水戸勝田の両支部総会に出席した。日立は100名以上の出席者があり、うち23名が平成1~16年卒の会員であった。また会員から年会費を取っていない、ということに驚きを感じた。若手会員を集めることは、東京支部にとっても長年の念願であり、羨ましい。水戸勝田は46名が出席。その中に今回初めて出席したという紅一点の美人女性会員・伊東庸子さん(昭62学電)がおり、出席会員の注目を浴びていたのが印象的でした。伊東さんには早速、次回の会報に掲載する「感想文」の執筆をお願いした。(三本木)

★昨年11月、第24回総会が終わって最初の幹事会で、山本栄治(昭18専機)氏から「支部活動活性化提案」がなされました。幾つかの論点の中で大きなウェートを占めたのは、組織の中の女性に関するものでした。女性会員は相当数いるけれども、一人も会合に参加していないと言う東京支部の現実。この4月名簿編纂室を中心として意見交換会が開かれ、「効果ある即効性の解決策は期待出来ないが、それなりの対応策を時間をかけて地道に実施して行こう」との結論になりました。

「汗流し編集後記編集し」お手元に届く頃には大分凌ぎやすくなっているでしょう。(兼子)

「東京支部会則」

(平成16年10月23日改正)

第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

支部長 1名
副支部長 若干名
幹事長 1名
幹事 若干名
会計幹事 1名
監事 2名
その他（同好会幹事、相談役、顧問など）
若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第7条 役員の仕事は、次の通りである。

支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。

副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。

幹事長 幹事の業務を統括する。

幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。

会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。

監事 会計を監査し総会で報告する。

同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。

相談役 支部長の相談に応ずる。

顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の仕事は2年とし、重任を妨げない。

第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年10月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年4回（2、5、8、11月の第4土曜日）開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。

細則規定

第1条 年会費は、2000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。但し、一旦納入の会費は返還しない。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者（但し、5年連続未納者には6回目に通知し以降配布を停止する）
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第3条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は、平成16年10月23日より施行する。

K.K. 渡辺建築事務所

〒171-0014 東京都豊島区池袋4-4-8

TEL 03-3987-1946 FAX 03-3985-3433

代表取締役 渡辺 益男 (昭19専精)

設計した主な顧客

(官庁)

東京都庁

各区役所

埼玉県庁

川口市等

その他

(民間)

本田技研工業(株)

信越科学工業(株)

日本マタイ(株)

トステム(株)

その他

建築設計監理

(コンサルタント)

著書 工場建築デザイン

(日刊工業新聞社)

平成7年5月出版

大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14

TEL:03-3837-5291 FAX:03-3837-5293

今年度で会社設立21年目になります。葉書から大判ポスターまで幅広く印刷をしておりますので、どんなものでもご相談ください。まずはお電話を。

TEL:03-3837-5291

多賀工業会 東京支部

事務局 〒113-0032 東京都文京区弥生2-8-6

支部長 近江 義勝方

電話 03-3811-7088 (FAX 共)

編集担当委員

鈴木 日出男 (昭30 学原)

三本木 武 (昭30 学金)

兼子 八郎 (昭38 学電)

小林 渡 (昭38 学電)

菅谷 禎男 (昭42 学機)

東京支部会報 [第8号]

発行 平成17年8月27日

発行者 支部長 近江 義勝

〒113-0032 東京都文京区弥生2-8-6

TEL&FAX 03-3811-7088